

2017年

4月号

農林水産省
北海道農政事務所
北見地域拠点

ず～むあっぷ☆ オホーツク

大空町メルヘンの丘

輝く女性にず～むあっぷ！

白花豆生産量日本一の北見市留辺薬町で農業を営んでいる、(有)森谷ファーム取締役の森谷裕美さんをご紹介します！



森谷さんは、山形県より入植して80年以上続く4代目の農家です。玉ねぎ 21ha、てんさい6ha、白花豆を含む高級菜豆3ha、小麦6haを作付けしています。

るべしべ白花豆くらぶ会長

「るべしべ白花豆くらぶ」は、平成27年1月20日に白花豆の消費拡大と地域の活性化を目的として設立されました。白花豆生産者や酪農家、菓子店、旅館業など異業種の会員が協力して料理や植栽、観光などの分野で多彩な活動を行っています。

白花豆を家庭で気軽に食べてもらうため、煮る手間を省いた水煮商品の販売等も予定しています。



つるは3メートルにもなるため、女竹（めたけ）と呼ばれる支柱を立てます。

【画像提供：JAきたみらい】

農福連携の取り組み

森谷さんの祖父の時代に留辺薬町の白花豆栽培は始まりました。白花豆の栽培は他作物よりも手作業を要するため、年々人手の確保が難しくなっています。その解消のため、農福連携にも繋がる障がい者の活用で、人手の確保を行っています。雇用者が行う女竹（めたけ）を抜く作業は、特に集中して行う作業ですが大変助かっています。



【可憐な花を咲かせます】



【白花豆のにお積みの様子】

農業の未来をつくる女性活躍経営体 100選（WAP）の受賞

(有)森谷ファームは、女性活躍に向けて先進的な取り組みを実践している農業経営体モデルとして、平成27年度「農業の未来をつくる女性活躍経営体100選」に選ばれました。この受賞をきっかけにさまざまな方と出会い、女性からの視点を加えることで森谷ファームの経営に広がりが出ています。

裏面では、「グローバルGAP」の取得に到った経緯について、ご紹介します。

『グローバルGAP』取得！

グローバルGAPを取得した経緯は・・・

以前からGAPには興味を持っていて、講習会等にも参加していましたが、どうすれば取得できるか分からずにいました。

森谷ファームの生産物輸出の取り組みを検討していたときにHAL財団と出会い、グループ認証というかたちで平成28年1月にグローバルGAPを取得することができました。

通常、GAP取得には数年かかるのですが、1年ほどで取得に到りました。

大変だったことは・・・

農薬保管、生産履歴、水質検査、作業者の労働安全確保等、取得する際のチェック項目が非常に多岐にわたっていたことは苦労しました。しかし、今までは暗黙の了解で行ってきた作業

内容がきちんと明確化されたことで、10年後、20年後を見据えた営農へと繋がっていくイメージを持つことができました。



【どこに、何があるのか明確化することが大事です】



【きちんと管理をしています】

★ グローバル GAP ★

世界に数あるGAP規格の中でも、安全な農場運営認証として最も普及している国際標準のGAPです。

GAPとは適切で効率的な農場管理を実践するための手法で、4つの柱の管理点が定められています。

- ① 安全な農産物の生産と出荷
- ② 作業者の労働安全と福祉の確保
- ③ 信頼できる販売管理
- ④ 環境へ配慮した生産活動

生産活動の記録・評価・改善を繰り返すことにより、経営改善及び販売先・消費者への説明や万が一、問題が起こった際の迅速な原因究明が可能となります。

お話を伺って・・・

女性の視点で「気付いたこと」のひとつとして、女性従業員が農繁期でも臆することなく休暇取得を申し出られる環境等の整備にも今後配慮していくそうですが、これが当たり前となるような環境でなければならないと話されており、女性が働きやすい職場は、男性にも働きやすい職場だと強く感じました。これから活躍する女性がますます増えて欲しいと願いつつ取材を終えました。

平成29年産の玉ねぎの育苗作業が始まっている中、お忙しい貴重な時間にお伺いしました。有り難うございました。

※ 農林水産省のホームページで以下の内容を公表しています。（説明を動画で視聴できます。）

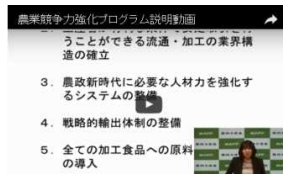
○ 米政策改革の概要

URL: http://www.maff.go.jp/j/syouan/keikaku/soukatu/kome_seisaku_kaikaku.html



○ 農業競争力強化プログラム

URL: http://www.maff.go.jp/j/kanbo/nougyo_kyousou_ryoku/index.html



お知らせ

編集後記 卒業シーズンも終わり、進入学の季節を迎えます。オホーツクの春は、まだ少し先のようにですが、未来に向かって花を咲かせて欲しいと思います。社会人の私達も、気を引き締めて新年度に邁進したいと思います。引き続きご愛読よろしくお願いたします。（おの）

編集：農林水産省北海道農政事務所 北見地域拠点
〒090-0018 北見市青葉町6-8 北見地方合同庁舎
TEL 0157-23-4171 FAX 0157-23-5358
北見地域拠点HP <http://www.maff.go.jp/hokkaido/kitami/index.html>